

## B-2 指導法の工夫

指導案に記載する内容

- ① 目指す生徒の具体的な姿  
その授業で目指す生徒の具体的な姿をイメージし授業設計する。
- ② 思考の深化や変容を導くための工夫
  - ・ 学習形態（個、ペア、グループ、全体）
  - ・ 表現のモデルを示す（発表の仕方、記述の仕方、ヒントカード）
  - ・ 教材、教具
- ③ 表現する力を高める場（言語活動を充実させる場の設定）  
言語活動の充実を図り、自分の思考を深めるために書いたり、表現したりする場を設定する。

本時では、

- ① 目指す生徒の具体的な姿  
「視点に基づいて観察結果を5つ以上書いている姿」
- ② 思考の深化や変容を導くための工夫  
観察の視野を広げられるように個→グループ→個と学習形態を工夫する。  
各班の観察結果を他の班に行って、発表する。（グループ間交流）  
実物との出会いを大切に、多種多様な植物を教材として準備する。
- ③ 表現する力を高める場（言語活動を充実させる場の設定）  
観察結果を分析し整理するために書く

授業の様子

